

萱瀬☆物語

大村市立萱瀬小学校

学校だより 第31号

令和5年6月13日発行 校長 高以良康弘

「やさしく」「かしこく」「たくましく」

5年生宿泊学習に行ってきました！

5月18日19日の両日、5年生は黒木小の5年生と一緒に諫早少年自然の家に宿泊学習に行ってきました。2日間（一泊二日）の中で、自然を満喫し、公共施設での過ごし方や共同生活でルールを守ることの大切さを学んだようです。帰ってきた子どもたちの表情は、疲れはしていましたが、楽しんで満足そうな顔をしていました。



2年生学級レク(いもさし)を実施しました！



大村公園の花菖蒲も満開、見ごろの季節になりました。6月5日には2年生が保護者の方の力添えを得ながらいもさしに挑戦しました。子どもたちは秋の収穫を楽しみにしながら芋づるを畑に挿していました。



ご協力いただいた保護者の皆様、芋づるを提供してくださった方、おかげで楽しく活動することができました。

大学生による児童支援活動

昨年度に引き続き、純心大学の学生さん（本校の卒業生）が1名、ボランティアによる児童支援活動で学校に来てくださっています。時間帯の都合で、週に1回金曜日朝の時間帯（1時間程度）ですが、順に各クラスに入る等して、児童と触れ合ったり担任のサポートをしたりしてくれています。田下町にお住まいの方です。



校長室の窓から 「したくなくても、しなければならぬこと」「したくても、してはならぬこと」

教育の目的は、子供一人一人の自立にあると思います。また、自立とは、よりよき社会の形成者としての義務や責任を全うしつつ、自らの夢の実現に向かって、豊かに生きていくことだと考えます。つまり、私たち大人には、子供一人一人に、自立するための力を身に付けさせる役目があるということです。そのためには、よい意味で、子供たちを鍛えなければなりません。

では、「鍛える」とはどうすることなのか？…例えば、世の中には「したくなくても、しなければならぬことがある」ことや、「したくても、してはならぬことがある」ことを正しく教え、最後までやり抜かせたり、我慢させたりすることだと思うのです。

学校でも、目標達成を目指し、励まし取り組ませています。家庭や地域を舞台に、よい意味で、子供たちを鍛え、たくましく育てていただければと思います。

食育指導に来ていただきました

富の原小の学校栄養職員が、5月26日（金）1年生に、6月7日（水）2年生に食育指導に来てくださいました。「食事のマナーについて知ろう～ぎょうぎよく食べよう～」「よくかんで食べよう」と題して、正しい姿勢で食べることの大切さ等を指導してくださいました。子供たちも自分の給食を食べ方・姿勢のことを考えながらしっかり話を聞いていました。



新体力テストを実施しました！

体力テストは、「子供が自身の基礎体力を知る。教師が、児童の体力、運動能力の特性、実態を把握し改善するための基礎資料とする。」のために行っています。

種目は、ソフトボール投げ、50m走、反復横跳び、立ち幅跳び、20mシャトルラン等々ありますが、高学年は低学年のお世話をしながら子供たちは一生懸命取り組んでいました。保護者の方々も子供の頃にスポーツテストという名称で行われていたかもしれませんね。



プール清掃頑張りました！

6月9日、梅雨の合間の晴れ間を利用して、プール清掃を行いました。水でびしょ濡れになりながら、一笑健明プールの床・壁等を磨きました。（笑い声・歓声も響いていました。）

水泳学習の時期までもう少しとなりました。水泳を待ちわびている子どもたちも多いようです。水泳学習開始の連絡は各担任から連絡が入ります。各家庭で水着の準備をしておかれてください。

